

ジャパントイムズ主催 Sustainable Japan Award 2023 発表 最優秀賞：株式会社アシックス、優秀賞：真庭市（岡山県） 授賞式並びに記念イベントを 2023 年 9 月 12 日に開催

株式会社ジャパントイムズキューブ（代表取締役：末松 弥奈子）は、「Sustainable Japan Award 2023」の受賞企業・団体を発表しました。



2019 年に開始した「Sustainable Japan Award」は、今年で 5 回目を迎えます。ESG 部門、Satoyama 部門の 2 分野において、長年またはその年に先進的かつ持続可能な取り組みを行なった企業、団体、個人を表彰し、その活躍を国内外に伝えてきました。今年も候補者の公募を行い、Sustainable Japan Network のアドバイザー及び事務局による厳選な審査の上、受賞企業・団体・自治体を以下の通り決定しました。

また、表彰式と受賞企業・団体・自治体によるパネルディスカッションなどを含むイベントを 9 月 12 日（火）国際文化会館（岩崎小彌太記念ホール）にて予定しています。

■ 2023 年受賞企業・団体

<https://sustainable.japantimes.com/sjaward2023>

Sustainable Japan Award 最優秀賞	株式会社アシックス
Sustainable Japan Award 優秀賞	真庭市（岡山県）

Sustainable Japan Award ESG 部門 優秀賞	ニッセイアセットマネジメント株式会社
	株式会社ポピンズ
Sustainable Japan Award Satoyama 部門 優秀賞	バリューマネジメント株式会社
	ヤマガタデザイン株式会社
Sustainable Japan Award ESG 部門 審査員特別賞	特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ
	東京都
Sustainable Japan Award Satoyama 部門 審査員特別賞	株式会社サスエ前田魚店（静岡）

<Sustainable Japan Award 審査員>（敬称略）

■ESG 部門

森澤充世：PRI シニアリード

澁澤健：コモンズ投信株式会社 取締役会長

木村尚敬：経営共創基盤 共同経営者 マネージングディレクター

加藤隆俊：公益財団法人国際金融情報センター 顧問

■Satoyama 部門

藻谷浩介：日本総合研究所 主席研究員

御立尚資：京都大学経営管理大学院 特別教授

井上恭介：介塾 代表

<記念イベント概要>

日時：2023年9月12日 13:00-18:00、18:30-20:00（懇親会）

場所：国際文化会館（岩崎小彌太記念ホール）

東京都港区六本木5丁目11-16

スペシャルスポンサー：[日本生命保険相互会社](#)

詳細並びに参加お申し込み：<https://peatix.com/event/3637486>

■ESG 部門パネルセッション（60分）

モデレーター：森澤充世氏 / PRI シニアリード

パネリスト：吉川美奈子氏 / 株式会社アシックス サステナビリティ統括部 統括部長

大関洋氏 / ニッセイアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

轟麻衣子氏 / 株式会社ポピンズ 代表取締役社長

湯浅誠氏 / 特定非営利活動法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長

嵯峨和道氏 / 東京都 財務局主計部公債課長

■Satoyama 部門パネルセッション (60分)

モデレーター：藻谷浩介氏 / 日本総合研究所 主席研究員

パネリスト：真庭市 (登壇者未定)

他力野淳氏 / バリューマネジメント株式会社 代表取締役

山中大介氏 / ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役

前田博氏 / 株式会社サスエ前田魚店 代表

■特別セッション (60分)

モデレーター：井上理氏 / 株式会社リニューズ 代表取締役

パネリスト：木村武氏 / 日本生命保険相互会社 執行役員 / PRI (国連責任投資原則) 理事

伊吹英子氏 / 株式会社野村総合研究所サステナビリティ推進部 部長

末吉光太郎氏 / 株式会社みずほフィナンシャルグループ サステナブルビジネス部 副部長

◆The Japan Times (ジャパントイムズ) について

The Japan Times は、1897年 (明治30年) に創刊された、日本で最も歴史のある英字新聞です。

1996年にホームページを開設。現在はソーシャルメディアも活用し、日本のいま、そして未来を、世界に向けて発信しています。読者は、国内在住の外国人に加えて、世界各国の政府高官やシンクタンクはもちろん、各国のメディアにも日本に関する信頼できる情報ソースとして活用されています。過去のアーカイブは、海外の大学や公立の図書館などで、日本やアジアの歴史研究に活用されています。

<問い合わせ>

株式会社ジャパントイムズキューブ

The Japan Times Cube

担当：広報 熊野

E-mail: pr@japantimes.co.jp